



INFORMATION

「住宅向け新商品内覧会」（パナソニック主催、1月24日開催）で行われた、セミナーのキーワードをお届けします。

10年後の工務店業界予測

～国策にみる木造住宅と工務店のためのシナリオ～

(株)北海道住宅通信社
代表取締役 野島宏利氏

1年後～「15カ月予算」と消費税率アップへの対応

A. 2012年度補正予算のねらい（2月15日頃の成立をめざす）

①復興・防災対策 ②成長による富の創出 ③暮らしの安全・地域活性化

B. 2013年度予算案

省エネ関連の補助・助成が乱立！キーワードは、防災。

例) ①建築物の耐震化緊急促進事業（150億）②公共施設のLED照明灯整備（84.5億）

③既築住宅における高性能建材導入促進事業（100億）等々

C. 木材利用ポイント（地域材活用促進事業）の創設・・・「住宅エコポイント」の木材版

D. 地域工務店に必要な消費増税への対応は？

①消費税率引き上げ

平成26年4月から5%→8% 平成27年10月から8%→10%

②経過措置

平成25年9月30日までに請負契約を締結すれば、平成26年4月1日以降引渡しでも税率は5%適用！

③消費増税前の「建てどき」メリットを誰が説明できますか？

3年後～消費税率アップと人口減の始まり

①平成9年度、消費税が3%から5%に上がった時の影響

平成8年度の住宅着工戸数約160万戸、平成9年度は、約132万戸に減少。

②本当に心配なのは、地域人口の減少！ 比較 平成22年→平成47年

*北海道の人口は約441万人！ 約120万人減少。

*平均世帯数は2.42人から2.20人に減少

*65歳以上の世帯主の割合31.2%から40.8%（その6割は75歳以上）

*単独（単身）世帯の割合は、37.2%に増加

*全国に先駆ける北海道の高齢化！

最後に、キーワードは・・・

誰に、何を、どうやって、売りますか？
わかりやすく、説明できますか？

高橋興業株式会社

Tel 011-815-7000

Fax 011-815-7070

suisai-s4@galaxy.ocn.ne.jp